
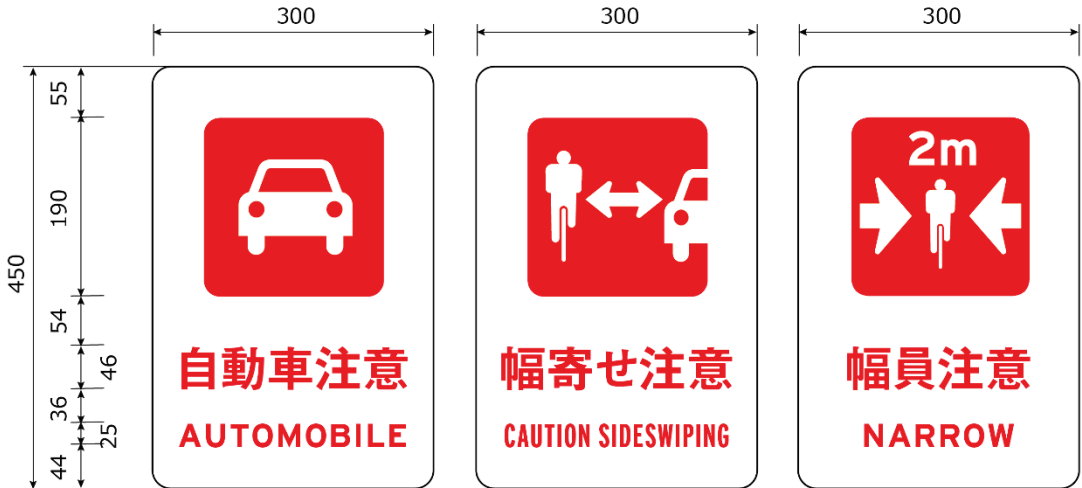
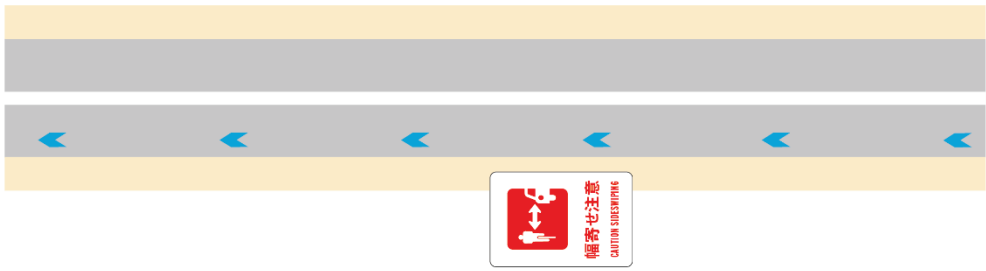




名称	注意喚起標識	狭幅員注意	M
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で自動車の走行速度が速い区間や狭幅員道路で自動車との接触の恐れがある地点を事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に必要に応じて設置する。 ●自動車の走行速度が速い区間においては、その上流の直線区間に設置する。また、その区間延長が長い場合には必要に応じて、その区間内にも設置する。 ●狭幅員道路の手前では、その上流の直線区間に設置する。また、その区間延長が長い場合には必要に応じて、その区間内にも設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	 <p style="text-align: center;">注意喚起看板</p>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料
【自転車通行空間の運用】



はじめに

1 ガイドラインの概要


2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 自転車通行空間の運用

名称	注意喚起標識	歩行者注意	N
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で見通しの悪い無信号交差点や狭幅員道路で人が多く集まる公共施設や小学校・幼稚園・保育園の手前など、歩行者の横断・飛び出しによる自転車との接触の恐れがある地点を事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に必要に応じて設置する。 ●見通しの悪い交差点の手前においては、その上流の直線区間に設置する。 ●人が多く集まる施設の手前においては、その上流の直線区間に設置する。 		
デザインサイズ (mm)	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="542 1321 766 1657">  <p>歩行者注意 PEDESTRIAN</p> </div> <div data-bbox="798 1321 1021 1657">  <p>歩行者とびだし PEDESTRIAN</p> </div> <div data-bbox="1053 1321 1276 1657">  <p>児童施設 CHILD AT PLAY</p> </div> </div>		
設置イメージ			



名称	注意喚起標識	急勾配注意	0
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルートに急な上り坂、急な下り坂があることを事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●特に、自転車速度が高くなる区間では、下りの急勾配手前の直線区間に必要に応じて設置する。また、上りの急勾配区間でも事前に周知する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	 <p style="text-align: center;">注意喚起看板</p>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 自転車通行空間の運用



はじめに

1 ガイドラインの概要


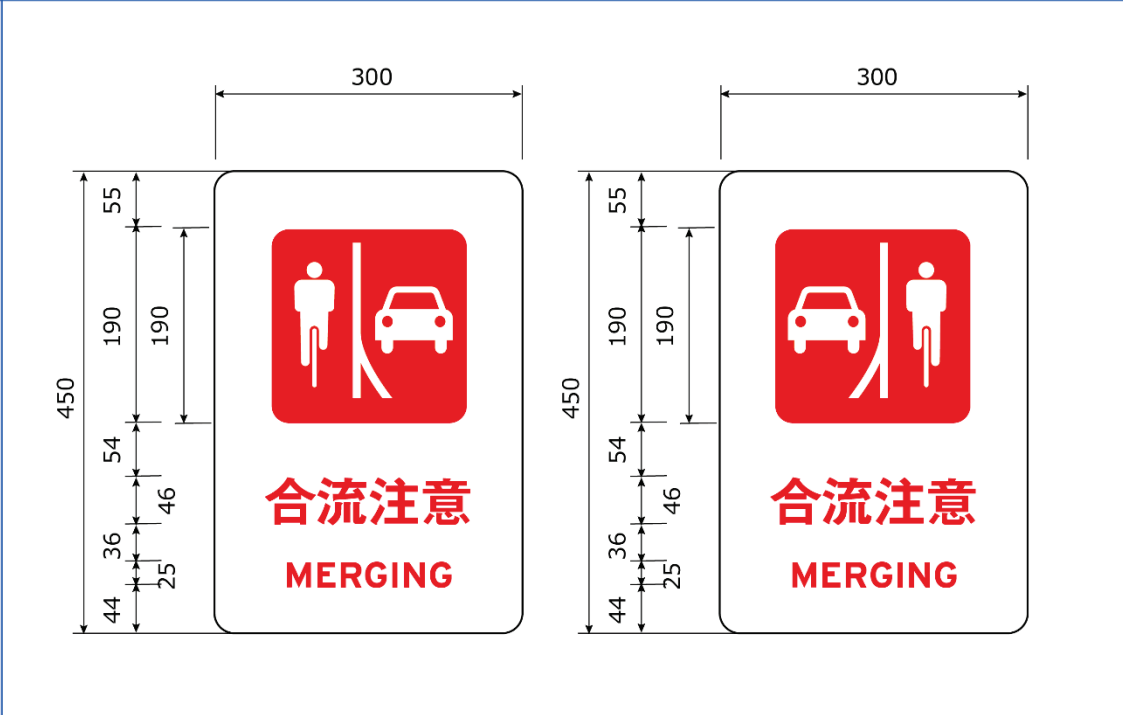
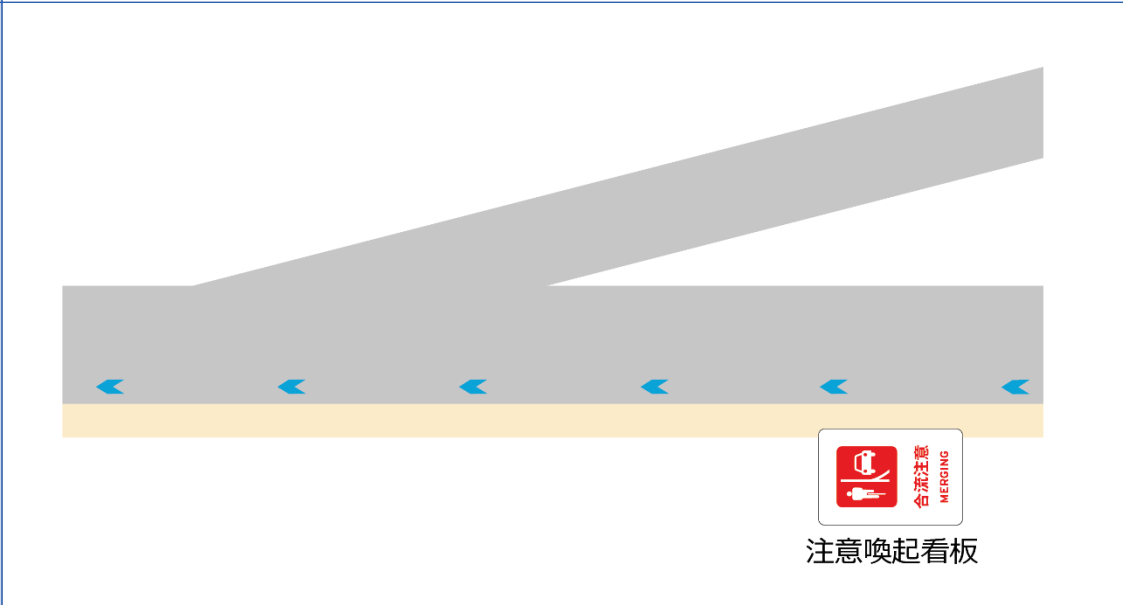
2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 自転車通行空間の運用

名称	注意喚起標識	合流注意	P
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で見通しの悪い無信号交差点や変則交差点などで自動車との接触の恐れがある地点を事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●見通しの悪い交差点や変則交差点の手前において、その上流の直線区間に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ			



名称	注意喚起標識	左側通行遵守	Q
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●サイクリストに対して左側を走行するよう周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●道路状況、交通状況に応じて、適宜、設置するが、特に、自転車通行量の多い区間に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	<p style="text-align: center;">注意喚起看板</p>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 自転車通行空間の運用
【参考資料】



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備


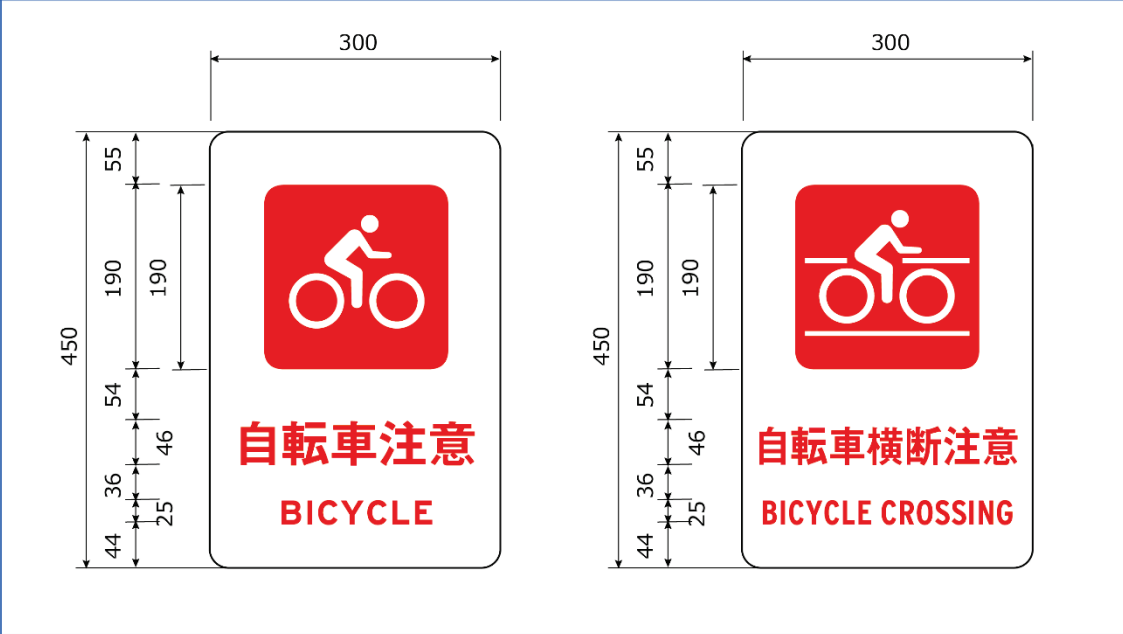

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 【参考資料】
自転車通行空間の運用

名称	注意喚起標識	路面凹凸注意	R
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で路面状況が悪くなる区間を事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●舗装に凸凹がある場合は、修繕を行うことを基本とするが、サイクリングロードなど舗装の予定がない区間や修繕に時間を要する区間では、必要に応じてその手前に設置する。 ●舗装修繕が完了次第、撤去する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	<p style="text-align: center;">注意喚起看板</p>		



名称	注意喚起標識	自転車横断注意	S
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルートで自転車が人や車と錯綜する区間において、歩行者や車のドライバーに対して注意を促す。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●自転車が人や車と錯綜する区間では、その上流側と下流側に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ			

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 【参考資料】自転車通行空間の運用



はじめに

1 ガイドラインの概要


2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料
自転車通行空間の運用

名称	注意喚起標識	自転車止まれ	T
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で自転車が止まらないことにより、自動車や歩行者と接触のおそれがある危険箇所を事前に喚起する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●自転車専用道路や堤防道路から車道に合流する地点、無信号交差点で車と歩行者と接触する恐れがある地点では、必要に応じてその手前に設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ			



名称	その他（補助標識）	応援メッセージ	U
役割	●特に、ヒルクライム、ロングライドを楽しむサイクリストに対して、応援メッセージを送る。		
設置基準	●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●拠点施設や観光地が近い区間、上りの急勾配が続く区間に必要に応じて設置する。		
デザインサイズ（mm）	<p>※補助サインは3つに区分し設置目的・箇所に応じて適切な構成を行う</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="454 712 639 1357"> </div> <div data-bbox="805 712 1085 745"> <p>「ピクト」サインの例</p> </div> <div data-bbox="869 768 1401 1025"> </div> <div data-bbox="805 1052 1053 1086"> <p>「応援」サインの例</p> </div> <div data-bbox="869 1097 1353 1366"> </div> </div>		
設置イメージ	<p>※1.0km 毎(登山ルート：頂上を目指す九折の道路)に注意喚起(道路線形)の標識を設置する</p> <p>※2.0km(麓のルート：登山ルート入口からサイン設置箇所までの距離)</p>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 【参考資料】 自転車通行空間の運用



はじめに

1 ガイドラインの概要

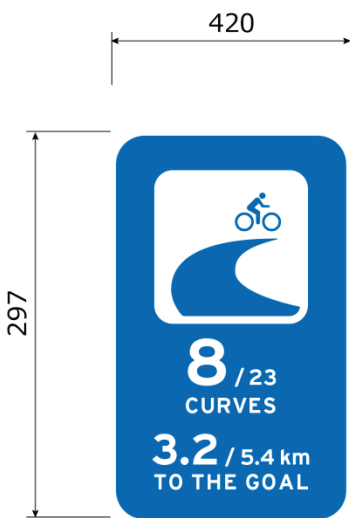

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料
【自転車通行空間の運用】

名称	その他（補助標識）	応援メッセージ	V
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上の峠において、急カーブ・急勾配があることに加えて、応援メッセージも兼ねた案内を行う。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●特に、山間部で自転車速度が高い区間では、その急カーブ手前の直線区間に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ（mm）	 <p>「応援」サインの例</p> 		
設置イメージ	